

変化の最中

これは変化のしきりなりと云ふに
たにたにた

しきりと言ふ言葉も手かたなり

いふ生活のあり方が現在して

明治のはじめからともろそげをゆり

していりはやロクレイカでドレス

を着てワルツをおどるりりりりり

もの

先日 妹のところへ物を送った

布がくつかない

といひあせをす

表れがよいと云ふ内表がちがう

と言われぬ

正確に住所を言つたがそれで

表れ 表れと言つていふ

昔の内字の表れが出た

マシエの生活の多い現在 番号は

昔風の袋の知人へ送つても 番号は

ついでいふ

孝子亦然 昔と現在がいろいろ子じつていろいろだ

物にみすゝな表現もよほははていゝ

うすいカ！テイカ！がみくすか

コトトか今に か中といて下さいし

もて来たのはキキととしは上着だ

上部に若ぬもろけ皆カ！子イカン存すだ

ミーツをいのですか

現在に あつたのあゝニキバフトを便甲して

いゝ いフクころあうかその物自体も

表現も変つてた

今に何かが何だか不明の時代が来るともい

やん

その変り目はいゝのけ あもしろい

2021
11/5